

タヌキモ科

ヒメタヌキモ

Utricularia minor L.

兵庫県ランク… B

環境省ランク… NT

■ 県内分布

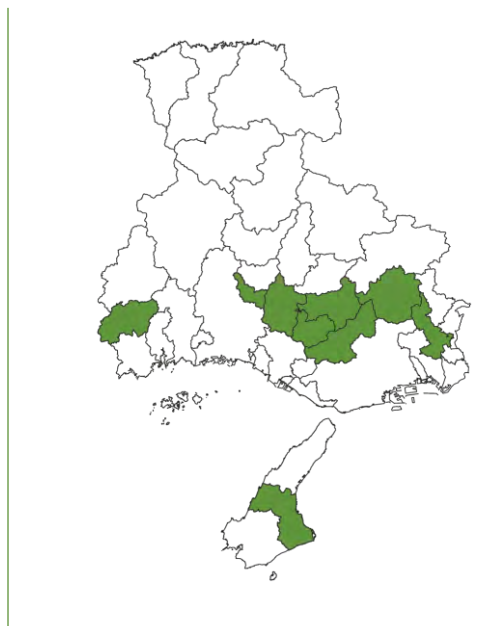
宝塚市、三田市、三木市、小野市、加西市、加東市、福崎町、上郡町、洲本市

■ 国内分布

北海道、本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

ため池の水質悪化や埋め立てなどの改変により急減している。



写真提供：松岡成久

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

浅い古池に生える多年草。軸は水底の沈殿物の中に伸び、所々地中葉を泥中に出して固着する。水中葉は長さ8-13mmになり、3-4回分裂し、まばらに捕中囊をつける。裂片の先には1-3本の刺がある。地中葉にも捕中囊がつく。8-9月に、高さ10cm程度の花軸を出し、ごくまれに4-8個の花をつける。花は黄緑色、径は約8mm、萼の長さは2mm余。距は短く円錐状で下を向く。花柄は4-5mm、花後も下垂しない。